

## 長期療養型病床群—洋漢併用療法

### 文献

針生雄吉. 杜都中央病院の高齢者における漢方治療の経済的効果及び臨床的効果について. 漢方の臨床 2003; 50(11): 1547-50.

### 1. リサーチクエスチョン (research question)

長期療養型病床群の患者の治療を目的とした、洋漢併用治療の費用対効果を、西洋薬による治療を対照とした費用結果分析法により評価する。  
分析の立場 : 記載なし (医療費支払者?)

### 2. 対象集団と介入 (interventions)

対象集団 : 2002年1月から12月まで入院した306名の患者

介入群 : 3階病棟で洋漢併用治療 136名

対照群 : 2階病棟で西洋薬による治療 170名

### 3. セッティング (location/setting)

日本、病院 (長期療養・入院)

### 4. 方法 (methods)

・コスト : 直接コスト (内服薬費、注射費)。データ収集期間は2002.1-2002.12。

・アウトカム : 37.5°C以上の発熱があった日数の総在院延べ日数の割合、総死亡数。  
データ収集期間は2002.1-2002.12。

・割引率 : 記載なし。

### 5. 結果 (results)

	コスト/1人月 (JPY)			アウトカム (差分の検定の有意水準はすべて5%)		
	注射費	内服薬費	総費用	発熱があった 日数の割合	総死亡数	死亡者の肺炎 が占める割合
介入群	-	-	-	10%	23	18%
対照群	-	-	-	9%	50	38%
差分	-3,983	-1,619	-5,619	1%	-27	-20%

有意差なし      有意差あり

・西洋薬治療が行われた3階病棟に比べ、洋漢併用治療が行われた2階病棟での死亡数・死亡率、特に肺炎による死亡数・死亡率が大きく低下した。

### 6. 著者の結論 (authors' conclusions)

・当院と同じ規模の療養型病院で積極的な漢方薬併用治療が行われれば、年間1,000万円程度の支出節減が可能である。漢方療法には脳中枢系疾患の慢性期における延命効果、また感染性疾患に対する予防と治療の効果のあることが示唆された。

### 7. Abstractor のコメント

・著者は洋漢併用治療の導入によって、長期療養型病床群の薬剤費を節減する同時に死亡率を低下させる可能性を示唆した。一方、本研究の研究対象には複数の疾患があり、使われた漢方薬の処方も報告されていない。1つの対象疾患に絞りより詳細な臨床経済評価が期待されている。  
・アウトカムの指標として患者のQOL (生活の質) に関する評価を加えれば、漢方薬が身体全体の健康状態を改善する機能をより反映できるであろう。

### 8. Abstractor and date 唐/五十嵐 2012.3.5